2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科目	区	分	専門分野	授業の方法		講拿	妄
科目名	心理総論Ⅷ		必修/逞	銭択ℓ	D別	必修	授業時数(単位数)	30	(2)	時間(単位)
対象学年	2年生		学期及7	ブ曜日	寺限	後期	教室名			
担当教員	加藤 裕史	実務経験とその関連資格								

《授業科目における学習内容》

前期の「神経生理心理学」を更に細かく詳細に、脳の機能局在に関する知識を系統的に学習し様々な高次脳機能障害とその評価と治療について学習する。

《成績評価の方法と基準》

試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

適宜プリント配布

参考図書:

『心理学検定-基本キーワード改定版-』(日本心理学諸学会連合, 2015, 実務教育出版社) 『臨床神経心理学』(医歯薬出版社)

《授業外における学習方法》

随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

神経・生理心理学は、専門用語や記憶する名称も多く、学び始めは大変かもしれませんが、1つ1つ着実に身につけていきましょう。

				授業以外での準備学習		
方	法		内 容	使用教材	の具体的な内容	
第 1 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	神経生理学と心理専門職種の展開について理解することができる。	配布資料	配布資料で該当項目を	
		各コマに おける 授業予定	神経心理学とは(第一章) 心理職と神経生理学(欧米で活躍する専門職種)	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系の解剖学的な位置と名称を理解することができる。	配布資料	配布資料で該当項目を	
2	我形式	各コマに おける 授業予定	脳神経の構造と機能(第二章) 中枢神経系の解剖学的な内容を中心に学習	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第 3 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系の解剖学的な位置と名称を理解することができる。	エコ <i>ナ</i> ・ンケ 小小	配布資料で該当項目を	
		各コマに おける 授業予定	脳神経の構造と機能(第二章) 中枢神経系の解剖学的な内容を中心に学習	配布資料 指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系の機能的な役割を系統的に理解することができる。	配布資料	配布資料で該当項目を	
4 回	戦 形 式	各コマに おける 授業予定	脳神経の構造と機能(第二章) 中枢神経系の機能的な内容を中心に学習	配布資料 指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第 5 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系の機能的な役割を系統的に理解することができる。	配布資料	配布資料で該当項目を	
		各コマに おける 授業予定	脳神経の構造と機能(第二章) 中枢神経系の機能的な内容を中心に学習	配布資料 指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 6 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系の機能的な役割を系統的に理解することができる。	配布資料	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。	
		各コマに おける 授業予定	脳神経の構造と機能(第二章) 中枢神経系の機能的な内容を中心に学習	指定教科書		
第 7 同	講義形式			配布資料	配布資料で該当項目を	
		各コマに おける 授業予定	脳神経の構造と機能(第二章) 中枢神経系の機能的な内容を中心に学習	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第 8 回	講義	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系の機能的な役割を系統的に理解することができる。	配布資料	配布資料で該当項目を	
	我形式	各コマに おける 授業予定	脳神経の構造と機能(第二章) 中枢神経系の機能的な内容を中心に学習	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第	講義			配布資料	配布資料で該当項目を	
回 	彩形式	各コマに おける 授業予定	神経心理学的症候をもたらす原因疾患(第三章) CVA・頭部外傷・脳腫瘍	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	神経・心理学的な症候をもたらす原因疾患と機序を理解できる。	配布資料	配布資料で該当項目を	
10	襄形 式	各コマに おける 授業予定	神経心理学的症候をもたらす原因疾患(第三章) 神経変性疾患・脳炎・精神疾患など	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	高次脳機能に関する心理検査を学ぶ	配布資料	配布資料で該当項目を	
	我形式	各コマに おける 授業予定	アセスメントの基本(第四章) 神経心理学的アセスメントについて ①	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標 主要な神経心理学的検査と測定対象を理解する。		配布資料	配布資料で該当項目を	
12 回	形式	各コマに おける 授業予定	アセスメントの基本(第四章) 神経心理学的アセスメントについて ②	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第	講義			配布資料	配布資料で該当項目を	
13 月	形式	各コマに おける 授業予定	アセスメントの基本(第四章) 神経心理学的アセスメントについて ③	指定教科書	調べ、専門用語に触れる。	
第 14 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	これまでの総括として重要なポイントについて理解できる	配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマに おける 授業予定	総括学習としての振り返り	指定教科書		
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ここまでの講義で学習したことを振り返り、知識を確実なものにする	· 町士次 41	テストに備え、これまでの 復習をしておくこと	
15 回		各コマに おける 授業予定	ここまでの講義の復習とまとめ。	配布資料 指定教科書		